

基本方針 5 大阪府立図書館は、府民に開かれた図書館として、府民とともにあゆみます。

重点目標 5-1	図書館が持つ資料や施設を活用し、府民の生涯学習活動を支援するとともに、地域の魅力づくりに貢献します。							
評価 (25~27 年度)	○	【評価の理由】 中央図書館では、指定管理者へ移行した業務及び生涯学習事業も順調に進んでおり、他団体との連携も多く実現した。今後も図書館の活性化や事業実施による地域の魅力づくりに取り組む。 中之島図書館では、耐震補強工事・リニューアル工事のため、臨時休館やスペースの減少等、厳しい制約の下で、施設を活用したイベントを実施し多くの参加者を得た。リニューアル工事により館内の利便性・快適性を向上させるとともに、28年4月から導入予定の指定管理者制度への移行準備を行った。						
重点指標		24年度 実績	目標	実績 / 達成度				
			25年度	26年度	27年度			
利用者満足度	96.2%	毎年 95%	94.5%	B	94.9%	B	94.8%	B
イベント参加者数	5,229 人	毎年 5,300 人	5,424 人	B	6,568 人	A	6,254 人	A
新規連携先数	—	毎年 3 件	4 件	A	5 件	A	3 件	B
【アクション・プラン】								
	取組み			達成状況				
平成 25 年度	(1)会議室・ホール等の図書館施設の利用実態の把握と分析 (2)効率的な施設管理のあり方について検討 (3)外部機関との連携強化			(1)駐車場利用アンケートの実施 (2)施設管理部門等における指定管理者制度導入のために条例案の作成 (3)歴史街道推進協議会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿大学文芸学部、江之子島文化芸術創造センターと連携・協力				
平成 26 年度	(1)施設管理部門等における指定管理者制度の導入に向けた事業内容の検討(中央) (2)ESCO(Energy Service Company)事業の契約締結(中央) (3)外部機関連携の継続(中央) (4)図書館としての魅力や利便性・快適性の向上(中之島) (5)所蔵資料の展示・活用方策の検討(中之島)			(1)11月10日の選定委員会において候補者決定、12月24日大阪府議会において承認 (2)8月25日に契約を締結、9月1日より27年度の稼働に向けて機器の更新等を実施 (3)目標を上回る5件の新規連携先を確保、昨年度に続き8か所との連携事業を実施 (4)正面玄関からのフリー入退館のためのBDS設置等の準備、外観の美化やトイレの改修工事を実施 (5)文化イベントを実施するとともに古典籍資料の電子目録化・デジタル化を実施				
平成 27 年度	(1)中央の指定管理者の運営状況について、指定管理者評価委員会における年度毎のモニタリング(点検)の実施準備(中央) (2)ESCO事業による光熱水費削減効果の検証(中央) (3)外部機関連携の継続(中央) (4)重要文化財である建物の景観の魅力向上、図書館の快適性や利用者サービスの向上を図るとともに図書館としての機能を強化(中之島) (5)28年4月からの施設管理、文化事業の実施等を行う指定管理者制度導入に向けて、指定管理候補者の公募・決定(中之島)			(1)6月30日の第一回評価委員会で評価項目、評価基準が了承され、第二回評価委員会で業務を検証 (2)27年度は45.3%の削減を達成 (3)指定管理者とも連携して新規連携先を3件確保 (4)記念室の改修、カフェの新設に向けた準備等を実施 (5)8月31日の選定委員会において候補者決定、10月27日大阪府議会において承認				

【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)

- ・有料の貸出スペースであるホールや会議室の利用実態、およびより効率的な管理手法を分析するとともに、魅力ある施設づくりを検討。
- ・企画展示エリア、展示コーナー、エントランスギャラリーについては、図書館企画事業の年間テーマ(平成24～25年度)「ネットワークを広げる」のもとに、外部機関との連携を強化し、利用促進につなげる。
- ・図書館のもつ資料と施設を活用して、府民の生涯学習を支援するとともに、外部機関の協力を得ながら、地域の魅力づくりにつながる情報を発信する。

基本方針 5 大阪府立図書館は、府民に開かれた図書館として、府民とともにあゆみます。

重点目標 5-2	広域自治体の図書館としての府立図書館の役割や活動についての理解を広げ、利用促進につなげるため、特にインターネットを活用した情報発信を推進します。							
評価 (25~27 年度)	○	【評価の理由】 26年1月、ホームページ運用にCMSを導入し、フォーマットの整備、ページ作成の簡略化により、新規コンテンツの拡充や既存コンテンツの更新に務めた。資料紹介ページ、国際児童文学館の街頭紙芝居、子ども読書推進のためのページ、「やさしいにほんご」のページ作成等、インターネット上で図書館の資料や活用方法を知るためのコンテンツの拡充が実現した。 図書館でのイベントやお知らせをツイッターで発信し、集客や周知に活かした。						
重点指標		24年度 実績	目標	実績 / 達成度				
				25年度	26年度		27年度	
ホームページアクセス数		4,732,498	毎年 5,000,000	5,099,457	B	5,270,083	B	5,580,180
ホームページ更新回数 《更新ファイル数》	727 《3,093》	最終年度に 800 《最終年度に 3,400》	—※ 《3,283》	B	—※ 《6,954》	A	—※ 《2,987》	B
個人利用者ページ アクセス数(個人分のみ)	768,823	最終年度に 1,000,000	800,610	B	911,500	B	949,770	B
※ CMS 導入により、更新回数は未集計								
【アクション・プラン】								
	取組み		達成状況					
平成 25 年度	(1)インターネットにおける広報手段の開拓 (2)ホームページの再構築 (3)ウェブサイト利用分析		(1)ツイッターによるお知らせ、イベント情報の発信開始 (2)ホームページ運用にCMSを導入(形式と文法の統一、作成の簡略化等) (3)アクセス数上位ページのモニタリングおよびホームページ活用について来館アンケート調査の実施					
平成 26 年度	(1)CMSの活用によるホームページコンテンツの拡充 (2)ツイッターを中心とするSNSの活用		(1)中央図書館資料紹介ページ「本蔵」、国際児童文学館「街頭紙芝居」等HPコンテンツを拡充 (2)ツイッター、フェイスブックにて、イベント案内、展示等の紹介、サービスのお知らせ等を発信					
平成 27 年度	(1)CMS、SNSの活用による情報発信推進		(1) ・CMSの導入によりホームページの整備がすすみ、各ページへのアクセス数が増加 ・講演会・資料展示等コンスタントにホームページ、SNSにより情報発信					
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)								
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度は、図書館情報システムのリプレイスに併せてインターネット環境についても更新を予定している。 WEBサイトの更新を容易にするCMS(コンテンツマネジメントシステム)の導入や、ツイッター(Twitter)やフェイスブック(Facebook)などの新しいコンテンツ配信手法の導入を検討する。 CMSの導入にあたっては、現状の利用状況を分析することにより利用者に使いやすく関心を持ってもらえるホームページに再構築し、重点目標の実現に繋げていく。 								